

01_Linuxサーバデータベース - growiのバージョンアップ手順。

概要

Wikiツールとして有効に利用しているgrowi。そのバージョンアップ方法のメモです。

これは、単にgitのみの手順です。他にシステム要件(他のミドルウェアのバージョンアップなど)がある場合は、それも合わせて実施することを注記いたします。

前提

- 既にgrowiをインストールしていること。
- systemdによってサービス化されていること。
- 最新版がリリースされていることを以下のサイトで確認していること。
 - <https://github.com/weseek/growi/releases>

手順

さっくりとした手順

1. growiのサービスを停止します。
2. gitコマンドで最新版を引っ張ります。
3. アップグレードを行います。
4. growiのサービスを再開します。
5. アップグレードされたことを確認します。

growiサービスを停止します

```
systemctl status growi.service
# サービススクリプトを[growi]にしている場合
# active (running)を確認します
```

```
sudo systemctl stop growi.service
```

```
systemctl status growi.service
# inactive (dead)を確認します
```

growiディレクトリに移動します

```
cd /opt/growi
# 自分の環境に合わせます。
```

最新版がリリースされていることを確認します。

```
sudo git fetch--tags
```

```
sudo git tag-l
# スペースで確認していき、上記リリースサイトと同じバージョンがあることを確認します
# 2023/01/26 現在でv6.0.4
```

チェックアウトとインストールを行います。

```
sudo git stash
```

```
sudo git checkout 【バージョン】
```

```
sudo yarn
# マシンスペックによっては相当時間がかかります
# Done in 【時間】と書かれていたらアップグレード完了です
```

growiサービスを起動します。

```
systemctl status growi.service
# inactive (dead)を確認します
```

```
sudo systemctl start growi.service
```

```
systemctl status growi.service
```

```
# サービススクリプトを[growi]にしている場合
```

```
# active (running)を確認します
```

バージョンアップを確認します。

1. ブラウザから設定したgrowiのドメイン/IPにアクセスします。
2. 画面下部にあるバージョンがチェックアウトしたバージョンであることを確認します。

ファイル

O_Growiアイコン.jpg

179 KB

2024/01/05

手動人形